

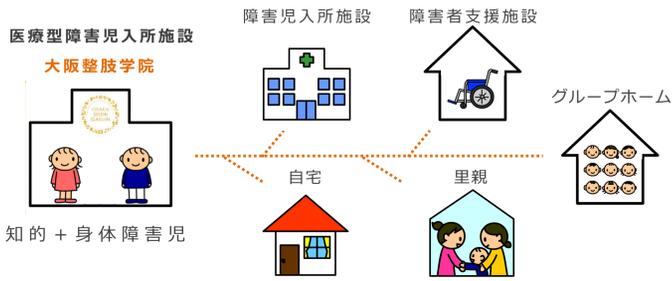
コミュニケーションサポートブックで施設退所後の生活を支援する取り組み



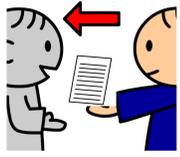
富田 朝太郎 | 大阪整肢学院 リハビリテーション部

はじめに | 大阪整肢学院の現状

18歳まで入所生活 → 障害特性に応じた進路



退所時の情報提供



主に医療面の情報

実際の生活支援に活用？

個別性を踏まえた支援に時間を要している

目的 | 伝わる情報提供へ

サポートブック作成へ

医療面の情報 → 生活に必要な情報



新たな環境へのスムーズな適応

取り組み



期間と対象

4年間 | 2015年4月～19年4月

退所した49名 | 3歳～24歳

サポートブック作成数 | 49冊

作成概要 | StepNoteの採用

サポートブック | StepNote



製作 ドロップレットプロジェクト

- 無料ダウンロード
- 手書き/PDFで作成
- 自由にカスタマイズ

作成手順

担当が項目記入

PDF作成



文体や表現の統一
情報内容の簡略化

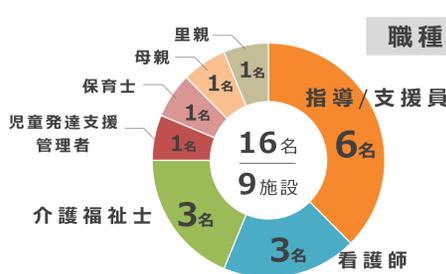
StepNote 特長



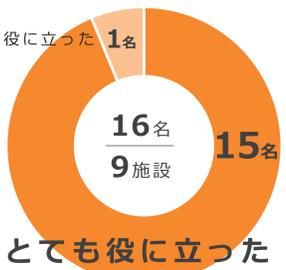
結果

進路先職員アンケート

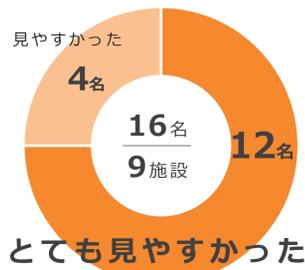
- 職種
- 有効性
- ① サポートブック
- ② デザイン



① サポートブックについて



② デザインについて

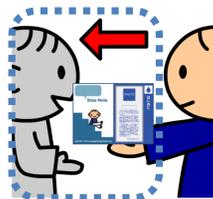


役に立った項目
コミュニケーション
スキナもの・ニガテナもの
マイベスト5
食事・入浴・排泄・睡眠

理由
文字の大きさ
イラスト・画像の使用
整理された情報

考察

サポートブック活用の有効性 **利用側**



利用側

本人理解

性格・趣味嗜好 / これまでの生活の様子

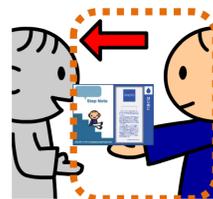
障害特性の理解

興奮時の対応 / 個別性を踏まえた支援

情報共有

整理された情報 / 持ち運び可能

サポートブック作成の有効性 **作成側**



作成側

障害特性の再認識

これまでの支援の振り返り

情報提供

困難時対応を成文化

専門性の向上

支援達成度の確認 → 評価の経験値

まとめ

サポートブックとは



サポートブック作成



施設退所後の生活へ

